

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公表番号】特表2006-511651(P2006-511651A)

【公表日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2004-563832(P2004-563832)

【国際特許分類】

C 08 J	3/22	(2006.01)
B 32 B	27/00	(2006.01)
C 08 L	59/00	(2006.01)
C 09 J	5/02	(2006.01)
C 09 J	201/00	(2006.01)
C 08 L	101/00	(2006.01)
C 08 L	75/04	(2006.01)

【F I】

C 08 J	3/22	C E Z
B 32 B	27/00	1 0 3
C 08 L	59/00	
C 09 J	5/02	
C 09 J	201/00	
C 08 L	59/00	
C 08 L	101:00	
C 08 L	75:04	

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月18日(2006.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) (a) ポリアセタールポリマー・マトリックスを形成するステップと、
 (ii) (b) 濃縮物を前記ポリアセタールマトリックスに加えるステップであって、
 前記濃縮物が、0重量%～40重量%の熱可塑性ポリウレタンと20重量%～80重量%
 の少なくとも1種の非晶質または半結晶質のポリマーとをポリアセタール中に含む、ステ
 ップと、

(iii) (c) 基材を成形するステップであって、(a)+(b)の全重量を基準にして成分(a)が85～98重量%で存在し、成分(b)が2～15重量%で存在するス
 テップと

を含む基材の製造方法。

【請求項2】

(i) 請求項1に記載の基材を形成するステップと、
 (ii) 少なくとも1つの追加層を前記基材に接着するステップと
 を含むことを特徴とする物品の製造方法。

【請求項3】

請求項2に記載の方法により製造されたことを特徴とする物品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0108

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0108】

(接着性を試験した塗料)

タイプB - ラスト - オレウム・ハード・ハット (Rust - oleum Hard Hat)、スプレー、仕上 A C A B A D O セイフティ・ブルー V 2 1 2 4 (finish A C A B A D O safety blue V 2 1 2 4)

タイプK - タミヤ・ヨーロッパ (Tamiya Europe G M B H) の T S - 5 オリーブ・ドラブ (Olive Drab)

最後に、本明細書に開示される発明について列記する。

1 . (i) (a) ポリアセタールポリマー マトリックスを形成するステップと、
(ii) (b) 濃縮物を前記ポリアセタールマトリックスに加えるステップであって、
前記濃縮物が、0重量% ~ 40重量%の熱可塑性ポリウレタンと20重量% ~ 80重量%
の少なくとも1種の非晶質または半結晶質のポリマーとをポリアセタール中に含む、ステ
ップと、

(iii) (c) 基材を成形するステップであって、(a) + (b) の全重量を基準に
して成分(a)が85 ~ 98重量%で存在し、成分(b)が2 ~ 15重量%で存在するス
テップと

を含む基材の製造方法。

2 . 前記ポリアセタールポリマーが、約10,000 ~ 約100,000の範囲の数平
均分子量を有する分枝状または線状のポリマーであることを特徴とする前記1.に記載の
方法。

3 . 前記ポリアセタールポリマーがホモポリマー、コポリマー、またはそれらの混合物
であることを特徴とする前記2.に記載の方法。

4 . 前記ホモポリマーが、エステルまたはエーテルから選択される基によってエンドキ
ヤップされている末端水酸基を有することを特徴とする前記3.に記載の方法。

5 . 前記エステル基がアセテート基であることを特徴とする前記4.に記載の方法。

6 . 前記エーテル基がメトキシ基であることを特徴とする前記4.に記載の方法。

7 . 前記ポリアセタールマトリックスが、少なくとも1種の安定剤をさらに含むことこ
とを特徴とする前記1.に記載の方法。

8 . 前記濃縮物が少なくとも1種のペレットの形態であることを特徴とする前記1.に
記載の方法。

9 . 前記少なくとも1つの非晶質または半結晶質のポリマーが、スチレンアクリロニト
リルコポリマー、アクリロニトリル - ブタジエン - スチレン樹脂で強化されたスチレンア
クリロニトリルコポリマー、アクリロニトリル - エチレン - プロピレン - スチレン樹脂で
強化されたスチレンアクリロニトリルコポリマー、ポリカーボネート、ポリアミド、ポリ
エステル、ポリエステル - ポリエーテルコポリマー、ポリアリーレート (polyarylates)、
ポリフェニレンオキシド、ポリフェニレンエーテル、耐衝撃性スチレン樹
脂、アクリルポリマー、イミド化アクリル樹脂 (imidized acrylic resins)、スチレン無水マレイン酸コポリマー、ポリスルホン、スチレンアクリロニ
トリル無水マレイン酸樹脂、スチレンアクリルコポリマー、およびそれらの誘導体からなる
群より選択されることを特徴とする前記1.に記載の方法。

10 . 前記少なくとも1つの非晶質または半結晶質のポリマーが、スチレンアクリロニ
トリルコポリマー、アクリロニトリル - ブタジエン - スチレン樹脂、アクリロニトリル -
エチレン - プロピレン - スチレン樹脂、およびポリカーボネート、ポリエステル、ポリエ
ステル - ポリエーテルコポリマーからなる群より選択されることを特徴とする前記9.に

記載の方法。

11. 前記基材が、押出成形および射出成形からなる群より選択される方法を使用して成形され得ることを特徴とする前記1.に記載の方法。
12. (i) 請求項1に記載の基材を形成するステップと、
(ii) 少なくとも1つの追加層を前記基材に接着するステップとを含むことを特徴とする物品の製造方法。
13. 前記少なくとも1つの追加層が、熱可塑性オレフィン、熱可塑性エラストマー、ポリエチレン、ポリプロピレン、熱可塑性ポリウレタン、極性オレフィン、溶剤(solvent)、水性ラテックス、エポキシ、ウレタン、粉末コーティングアクリル(powder coating acrylic)、溶剤系接着剤(solvent-base adhesives)、ラテックス、エポキシ、塗料、印刷インク、および強力接着剤(super glue)であることを特徴とする前記12.に記載の方法。
14. 前記少なくとも1つの追加層が不連続であることを特徴とする前記12.に記載の方法。
15. 前記少なくとも1つの追加層が共連続(co-continuous)であることを特徴とする前記12.に記載の方法。
16. 前記12.に記載の方法により製造されたことを特徴とする物品。